

第2表 (小)

学校名 清瀬市立清明小学校 (知的障害学級)

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の重点

ア 各教科

- ・個別指導計画に沿って計画的に、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、小集団で関り合いながら思考力、判断力、表現力の育成を図る。
- ・一人一人の理解度に着目してタブレット端末を活用するなど教材・教具を工夫し、興味・関心がもてる体験的・活動的な学習を展開する。

イ 道徳科

- ・道徳科の授業を要とし教育活動全体を通し、一人一人の人権感覚を高め、互いの人格や生命を尊重する心情を育てる。

ウ 外国語活動

- ・生活単元学習の時間に外国語に慣れ親しみ、コミュニケーションの楽しさを体験させる。

エ 総合的な学習の時間

- ・持続可能な社会の構築の観点に基づいた「伝統文化」「環境」「命と人権」「地域」を柱に主体的に地域と連携した探求学習を行い、地域について愛着をもたせる。

オ 特別活動

- ・集団の一員としての意識や態度を育むとともに、異学年交流を行い、仲間と協力して生活する力、互いに尊重し合う態度を育む。

カ 自立活動

- ・児童一人一人の障害の状態や発達の段階を的確に把握し、学校の教育活動全体を通して指導する。

キ 各教科等を合わせた指導

- ・日常生活の指導は、個別指導計画に従って、全教育活動を通して指導する。児童の実態に即して段階的に繰り返し行い、身辺自立を目指す。
- ・生活単元学習は、体験的な学習を通し、自分と身近な社会や自然との関りについて見通しのある学習活動に取り組む経験を積み重ね、自立に必要な事柄や技能を実践的に身に付ける。

(2) 生活指導

- ・学校生活や日常生活におけるルールやマナーを知り、周囲の状況に応じて判断し、行動できる力を育成する。

(3) 進路指導

- ・学校生活支援シートに基づき、教育活動全体を通して児童一人一人の発達段階や発達課題に応じ、自己判断・自己決定を繰り返す中で、自立と社会参加を目指したキャリア教育を行う。
- ・児童一人一人に適した進路を選択できるよう、家庭、中学校、特別支援学校、医療機関、発達支援機関、教育相談室等と連携し、教育相談を充実させる。

第2表の2 (小)

学校名 清瀬市立清明小学校 (知的障害学級)

3 特色ある教育活動・その他の配慮事項等

ア 生活科・総合的な学習の時間を中心に「伝統文化」「環境」「命と人権」「地域」の4つの柱でESDの推進を継続する。

・地域の方や、地域学習素材とのつながり、かかわりによる体験型探求学習によって、多面的、総合的に考える力や生かす力を身に付けさせる。

【伝統文化】「下宿囃子」「ふせぎ行事」について、地域の方々から話を聞いたり、体験したりすることを通し、伝統文化を受け継ぎ、郷土愛を育む学習を充実させる。

【環境】清明林や下宿ビオトープ公園の観察学習、柳瀬川体験学習等、地域の豊かな自然を活用した環境学習で自然環境を守るためにできることを考え自らの生活や行動に生かす力を育成する。

【命と人権】人権課題「高齢者」「障害者」「性的指向」や「命の学習」に取り組む。

「高齢者」では、認知症サポーター養成講座やディサービス「なないろ」「清雅苑」との交流を通し、共に助け合って生きようとする態度を育む。また、「障害者」での車いす体験学習や「性的指向」でのLGBTQの学習を行い、共に理解し合って生きようとする態度を育む。命の学習として「赤ちゃんプロジェクト」「食育」「柳瀬川体験学習」を通し、自他の命を大切にする主体的な態度を育む。

【地域】学校地域支援本部、清瀬市コミュニティハウスNPO法人きよセラボと協働し地域人材の活用、地域との連携により教育力の向上を図る。

イ 学力向上を図る

【算数科授業の充実】

・年間10単位時間プラスし、算数の基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

【読書活動の充実】

・学校図書館支援員を隔週で図書時間に配置し、学校図書館年間活動計画に沿って、読み聞かせ、ブックトーク等を実施し、読書活動の充実を図る。

【言語能力の向上】

・言語能力向上のために、ICTを活用しながらMIMや書く活動の充実を図る。

【「総合的な学習の時間」と「各教科等」の横断的な学習】

・教科で身に付けた知識や考え方を活用し、学習したことをまとめ発信していくことを通して、資料を読み取る力、分析する力、考察する力、説明する力を伸ばしていく。

ウ その他の配慮事項

①交流及び共同学習が円滑に実施できるように、学校全体の固定時間割の編成について配慮する。

②特別支援学級設置校長会及び担任連絡会等を通して、小・中学校の連携を推進し、特別支援学級における指導の連続性が図れるように留意する。

③個別指導計画の内容について、保護者との合意形成をし、共通理解をして取り組んでいく。

④学習内容に応じて、学年別指導、個別指導、習熟度別指導など様々な指導方法が適切に実施できるように意図的、計画的に行う。